












# 末廣酒造 株式会社 博士蔵

令和4年11月現在

カナ	スエヒロシヨウカブシキガイシャ ハカセクラ		カナ	シンジョウ イノキチ	役職	代表取締役
企業名	末廣酒造株式会社博士蔵		代表者名	新城 猪之吉		
所在地	〒969-6207	福島県大沼郡会津美里町字宮里81				
TEL/FAX	TEL : 0 2 4 2 - 5 4 - 7 7 8 8	FAX : 0 2 4 2 - 5 4 - 4 5 4 8	HPアドレス	<a href="http://www.sake-suehiro.jp/">http://www.sake-suehiro.jp/</a>		
業種	酒造業		創業年月	嘉永三年		
資本金	5, 0 0 0万円		従業員数 (男女比)	4 5名 男女比 ( 5 : 5 )		


本社名	末廣酒造株式会社嘉永蔵					
本社所在地	〒965-0861	福島県会津若松市日新町12-38				
TEL/FAX	TEL : 0 2 4 2 - 2 7 - 0 0 0 2	FAX : 0 2 4 2 - 2 7 - 0 0 0 3	HPアドレス	同上		

沿革	 <p>会津・保科正之公の家臣として家を興し、御用酒蔵として名を馳せていた新城家から、江戸時代の末期 嘉永三年（西暦1850年）に包格（初代猪之吉）が分家独立して酒造りを開始した。三代目は品質の向上と安定のため県外の技術者を招聘し、福島県で初めて杜氏による酒造りを実現した。また、県外への販売に力を注ぎ、本宮・東京へ進出し、明治末期には会津で一・二の生産量を誇った。四代目は更に酒質の改良に全力を注ぎ、丹波杜氏を招いて灘式の醸法を採用した。大正四年には清酒「末廣」が宮内省御用達になり、各種品評会で数々の賞を受け、会津清酒の名声を全国に広めることになった。五代目、六代目に入って、原点に帰り「酒づくりは米づくりから」ということで、地元会津の200件の農家と契約栽培に取組み、また、安全な原料をとる声に「有機栽培」による原料米調達を開始した。また、自家製酵母の開発にも力を入れ、会津の米、水、会津杜氏にこだわり、酒造りの伝統技法を頑なに守りながら、科学的な理論と合理的な設備の導入により、新しい伝統を再構築しそれを継承させた。現在の当主七代目は、原料のこだわりを継承しつつ、平成八年に会津美里町に「博士蔵」を竣工させ、次世代に向けた新しい酒造りに着手した。また、会津若松市の「歴史的景観指定建造物」、「国登録有形文化財」に認定されている。手造り醸造をしながら、喫茶店、コンサートホール、売店、クラシックカメラ館などを併設し、観光蔵として、また地域の文化活動の一躍を担う場所として活用されている。清酒の売上が低迷する時代に入り、市場を海外に求め輸出を開始した。ニーズの多様化に伴う新製品も次々と発表し、微発泡酒「ぶちぶち」や、製法の原点に帰った「山廃純米酒」を投入し売上は好調である。</p> <p>(山廃とは、酒母造り手法のひとつで、明治末期に理論が確立され、大正時代に当社で実地醸造された酒母。生酛系酒母のひとつである。)</p>
----	--

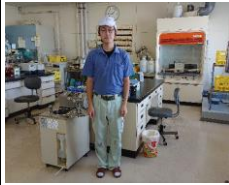
事業概要	<p>・清酒製造・販売業</p> <p>関連会社として「有限会社すえひろ」があり、喫茶店等を運営。</p>           
------	---

主な取引先	福島県南酒販株式会社／福島県酒類卸株式会社／ボークス株式会社／日本酒類販売株式会社／全農（農協）／株式会社アスク／丸藤ガラス株式会社／株式会社光陽／精英堂印刷株式会社／神田産業株式会社／会津パッケージ株式会社／高桑美術印刷株式会社
-------	---

自社PR	<p>本社は会津若松市にある嘉永蔵ですが、生産の拠点は平成八年に竣工した博士蔵です。</p> <p>先人のお陰で現在（いま）があるということで、当社には戦前から功勞のあった方を祀った「先人の碑」がありましたが、刻む場所がなくなったので、今から30年前の創業140年目に2つめの碑を建立しました。7月1日が会社の創立記念日ですので、6月30日には自主的にこの「先人の碑」の清掃を実施しています。同時に、会津の地場産業の礎をつくられた江戸時代の名家老「田中玄辛」翁の墓が小田山山頂にありますので、そちらも同じ日に清掃しております。</p> <p>酒造りは「和醸良酒」と言われており、皆が協力してこそ美味しい酒が出来ますので、人間関係が大変重要になります。コミュニケーションが大事ですので、毎日のラジオ体操と朝礼は欠かさず行っています。又、朝夕の各部ミーティングも実行しております。</p> <p>酒造会社という古風で封鎖的な企業というイメージがあるかも知れませんが、以上のことよりそんなことはなく、現状の法律に合致した就業規則もきっちりと整備・制定されており男女平等均等雇用用法も網羅されております。育児・介護休業に関する規則なども整備されています。この規則は、社員のみなならずパート社員にも適用されております。</p> <p>当社の市場は国内のみならず、海外にも市場があります。アメリカから東南アジア、ヨーロッパの各地に末廣の酒が輸出されて、いろんな人々に飲まれています。</p>
------	---

	<p>製造部製品課 鈴木 陽平 (入社10年)</p> <p>現在私は製品課に所属し、瓶詰め業務を主として従事しています。一方、社名が「末廣」のため、お祝いのセレモニーで鏡開きなどに使われる「樽」の注文が多くあり、そんな時には「樽」の製品化の業務も兼ねています。特に年末などは「樽」のご注文が多く、時間に追われることも多々あります。多くのお客様にきちんとした製品をお届けする仕事なので、やりがいを感じながら喜ばれるよう毎日過ごしています。</p>
---	---

はたらく先輩からのメッセージ



製造部製造課 後藤 哲哉 (入社7年)

大学で発酵学を専攻した私は、ご縁のあった末廣酒造に勤め6年目となります。

配属は製造課で、酒造り及び分析業務などを担当しております。入社前、酒造りの主役は酵母であると思っていました。もちろんその通りではありますが、酵母に勝るとも劣らない、麹菌の奥深い世界があることを入社後に知りました。「一麹、二酛、三造り」との先人の教えが身に沁みつつ、より美味しい日本酒を醸せるよう日々過ごしております。

代表者メッセージ

風土に根ざした原料（水、米）と会津の人々でつくり上げる真正正銘の地酒を目指す。座右の銘は「不易流行」で変えてはいけないもの（米、水、造り方）とその時代に合った新しいものをつくりあげることが大切である。この考え方を社員が共有することによって、会社の一体感が生まれ、このまとまりが会社の原動力となる。社は「私たちは人を愛し、地域(まち)を愛し、そして地球を愛します」でお客様のお陰で商売が出来、地域に恩返しをしたいということで制定しました。これからもお客様の幸せを徹底して追求し、お客様に喜んで頂けるものづくりに徹していきます。社員が幸せになってほしい、誇り高く、志は大きく、社員一同業務に邁進していきます。

「末廣の七信条」という行動指針により、より良い製品造りを目指し、未来に向かって進んでいます。

S : Safety / 末廣は安全性を追求します。 U : Universal / 末廣は世界に羽ばたく会社になります。 E : Emotion / 末廣は感動を売ります。  
H : Hermony / 末廣は調和を求めます。 I : Improvement / 末廣は進歩・改善をします。 R : Roman / 末廣はロマンを売り